

平成 17 年 10 月 19 日

## 2 号機屋外地下道における放水配管からの海水の漏えいについて

当所 2 号機は定格熱出力一定運転中ですが、平成 17 年 10 月 18 日午後 1 時 30 分頃、海水熱交換器建屋\*<sup>1</sup>から放水口へつながる地下道内のドレンサンプの水位の異常\*<sup>2</sup>を示す警報が発生しました。

現場を調査したところ、地下道にある補機冷却海水系\*<sup>3</sup>放水配管まわりの保温材から海水が漏えいしていることを確認しました。漏えい箇所を特定するため保温材を取り外したところ漏えい量が増加したため、午後 4 時頃、仮設ポンプによる排水処理を行いました。なお、床に滞留していた海水の漏えい量は約 470 リットルであることを確認しました。

漏えいは、配管の 2 箇所の穴からであることを確認したため、当該部の止水処置を行うとともに、当該部の下部に受け皿を設け仮設ホースで排水し床への漏えいを防止することとしました。

今後、次回定期検査において当該漏えい箇所を含め配管を詳細に調査し、対策を講じることとします。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

### \* 1 : 海水熱交換器建屋

タービン建屋等の補機（軸受やモーター等）で使用している冷却水（純水）を海水によって冷却するための装置のある建屋。

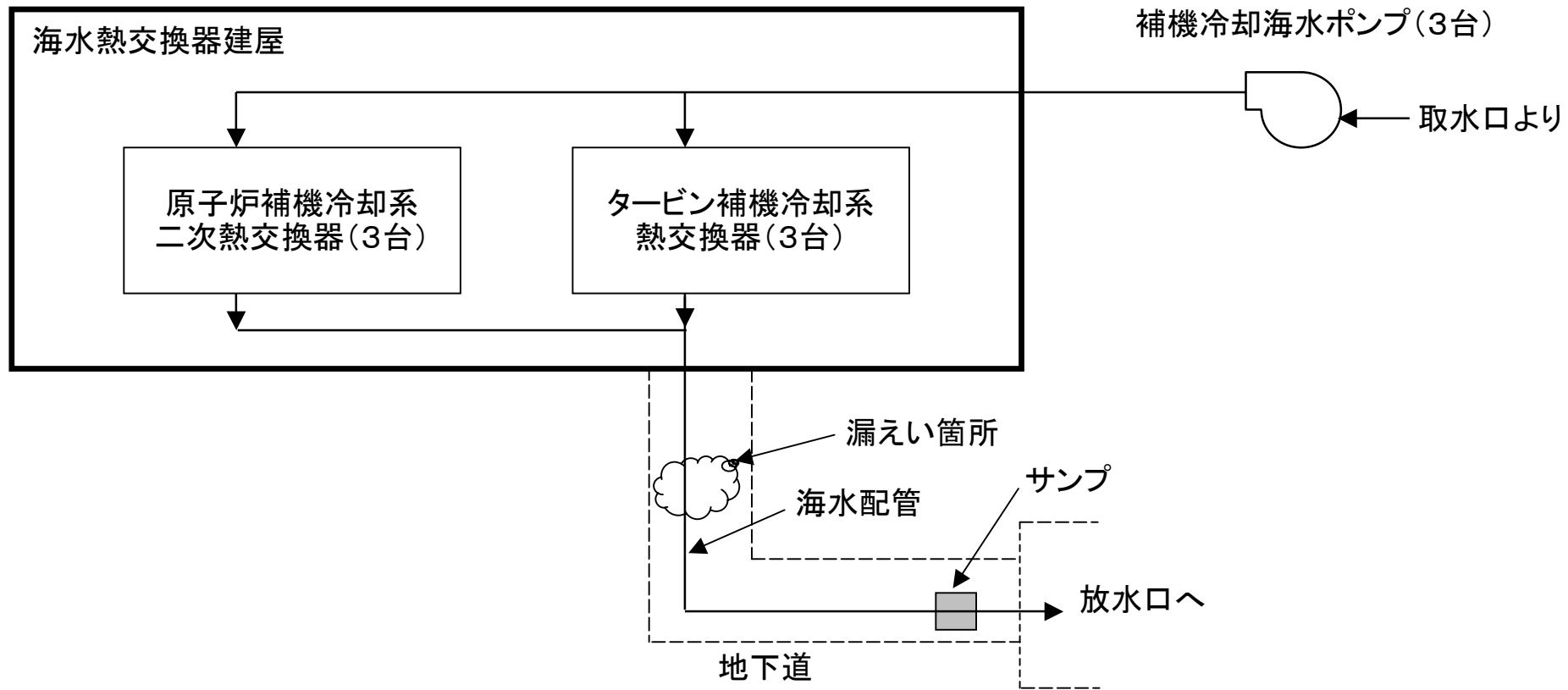
### \* 2 : 水位の異常

地下道内のサンプ内に溜まる雨水等が設定範囲より多くなった場合、または少なくなった場合。

### \* 3 : 補機冷却海水系

軸受やモーター等の補機の冷却水（純水）を海水で冷却するための系統。

「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み）における、区分Ⅲに該当するものとしてホームページに掲載したものです。



補機冷却海水系 系統概要図